

平成 19 年 3 月 7 日

各 位

会 社 名 常 磐 興 産 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 齋 藤 一 彦
 コ ー ド 番 号 9 6 7 5 東 証 1 部
 問 い 合 わ せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 秋 田 龍 生
 問 い 合 わ せ 先 電 話 番 号 0 3 - 3 6 6 3 - 3 4 1 1

「平成 19 年 2 月 度 月 次 売 上 概 況 (速 報)」 についてのお知らせ

平成 19 年 2 月 度 月 次 売 上 概 況 (速 報) について、下記のとおりお知らせいたします。

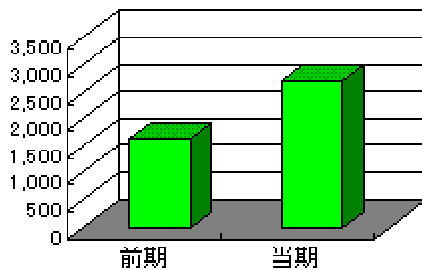
記

◇売上高 (単体)

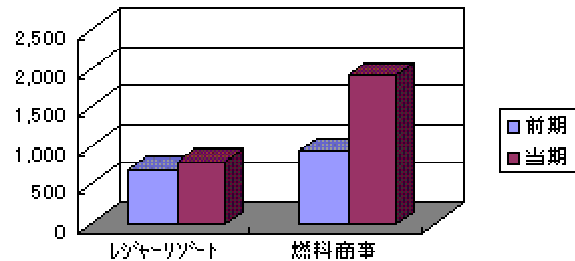
(単位：百万円)

区 分	2 月 度		当 期 累 計	
	自)平成19年2月1日 至)平成19年2月28日		自)平成18年4月1日 至)平成19年2月28日	
	当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
レジャーリゾート事業部門※1	802	115.0%	11,629	104.1%
スパリゾートハワイアンズ	670	115.7%	10,043	103.8%
ホテルクレスト札幌	44	105.9%	447	105.5%
クレストヒルズゴルフ倶楽部	51	131.2%	771	103.0%
山海館※1	38	97.7%	368	112.0%
燃料商事事業部門	1,911	202.4%	15,534	115.9%
合 計※1.2	2,713	165.3%	27,163	110.5%

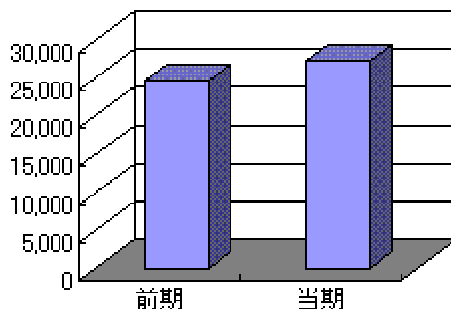
2月度売上高(全社)



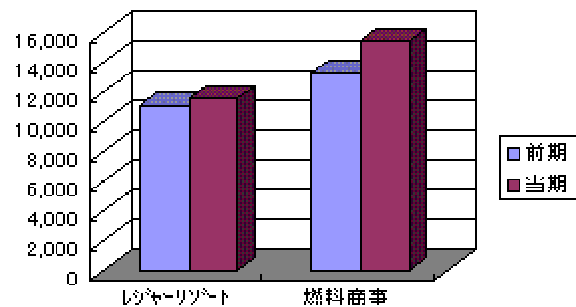
2月度売上高(事業部門別)



当期累計売上高(全社)



当期累計売上高(事業部門別)



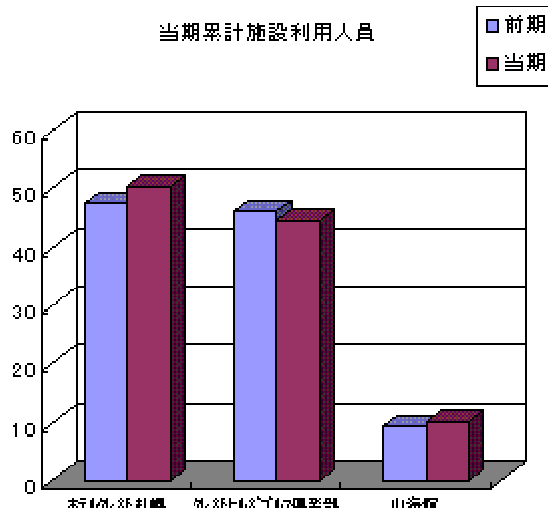
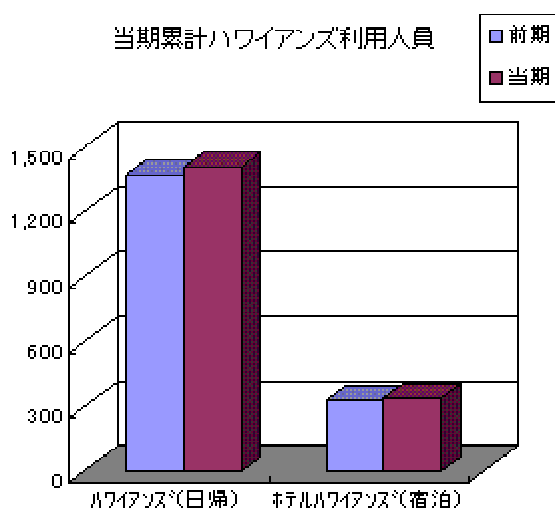
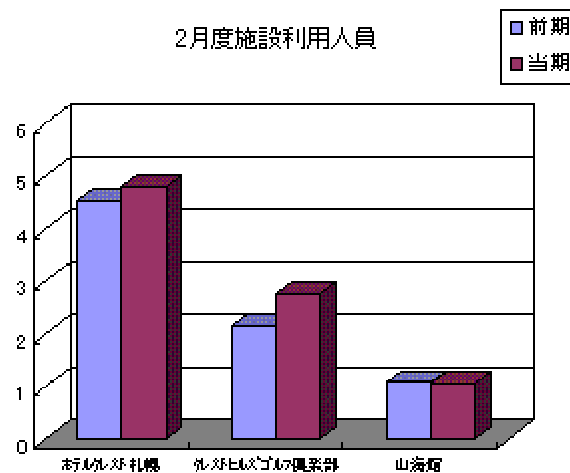
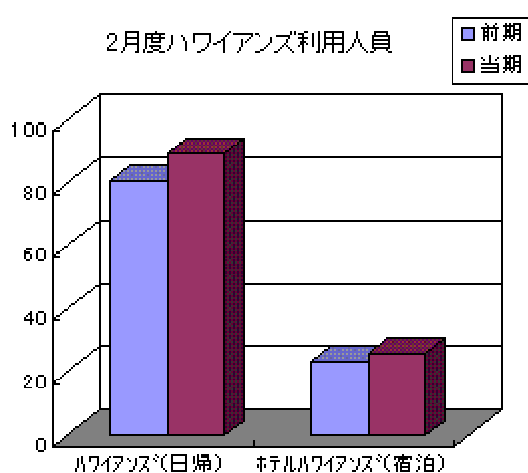
◇利用人員（レジャーリゾート事業部門）

（単位：千人）

区 分	期 別	2 月 度		当 期 累 計	
		当 期	前 年 同 期 比	当 期	前 年 同 期 比
ハワイアンズ（日帰）		89	110.2%	1,414	102.8%
ホテルハワイアンズ（宿泊）		26	110.8%	342	102.7%
ホテルクレスト札幌		5	105.5%	50	106.1%
クレストヒルズゴルフ倶楽部		3	127.9%	45	96.5%
山海館※1（宿泊）		1	98.0%	10	107.9%

※1 株式会社山海館は、平成17年5月1日に当社と合併いたしました。前年同期比較（累計）には、前年4月の売上高、宿泊者数を含めた数値を用いております。

※2 開発事業部門は、平成18年2月1日に会社分割いたしました。前年同期比較には開発事業部門の売上高を除いた数値を用いております。



◇コメント：平成19年2月度売上高について

レジャーリゾート事業部門におきましては、ハワイアンズ（日帰）は、暖冬によるレジャー動向の好環境が続き、三連休のご家族連れのお客様の増加等により、89千人（前年同期比110.2%）となりました。ホテルハワイアンズ（宿泊）におきましては、映画『フラガール』の日本アカデミー賞において最優秀作品賞ほか4部門の受賞による話題性等もあり、首都圏からの女性グループ・学生旅行が増加し、26千人（前年同期比110.8%）となりました。クレストヒルズゴルフ倶楽部におきましては、地元圏の自社企画コンペの受注と首都圏からの宿泊パックが増加し、3千人（前年同期比127.9%）となりました。ホテルクレスト札幌におきましては、雪まつり期間及び修学旅行の道外からの集客が奏功し、5千人（前年同期比105.5%）となりました。山海館におきましては、1千人（前年同期比98.0%）となりました。この結果当部門の売上高は、802百万円（前年同期比115.0%）となりました。

燃料商事事業部門におきましては、石炭部門で電力向け及び一般産業向け納入数量が好調に推移し、売上高は前年同月の納入数量が少量だったこと等により大幅に増加し、1,911百万円（前年同期比202.4%）となりました。

以上により、全体の売上高は2,713百万円（前年同期比165.3%）となりました。

※注 速報数値については、確定数値ではありませんので、若干変動する場合があります。

以 上